

議事概要記録

開催日時	令和2年7月11日(土) 15:00~18:00	開催場所	JAビル2階2A室
会議種別	令和2年度 第3回常務理事会	議長	久保 光史
		書記	久保 光史
出席者 <敬称略>	田中 規仁、田原 靖子、神藤 洋次、栗林 伴有、丸澤 佳子、久保 光史 6名		
欠席者 <敬称略>		オブザーバー	
次 第	<p>(1) PCR検査のための検体採取研修会について</p> <p>(2) PCR 検査の研修会について</p> <p>(3) 都道府県技師会研修会運営について</p> <p style="padding-left: 20px;">①研修会開始条件(新型コロナウイルス感染症関連で)</p> <p style="padding-left: 20px;">②研修会中止条件(新型コロナウイルス感染症関連で)</p> <p>(4) 令和2年度和臨技事業計画の見直し</p> <p style="padding-left: 20px;">実施事業と中止事業の仕分け</p> <p style="padding-left: 20px;">実施事業の場合、開催条件等の策定</p> <p>(5) 会長 日臨技報告</p> <p>(6) 令和2年度和歌山県臨床検査技師会講習会開催への対応方針</p> <p>(7) 和臨技精度管理の参加基準</p> <p>(8) その他</p>		
議事概要	<p>(1) PCR検査のための検体採取研修会について</p> <p>(2) PCR 検査の研修会について</p> <p>(5) 会長 日臨技報告</p> <p>以上の議題について、日臨技および厚労省通達文書を基に検討。</p> <p>会長より和歌山県医務課 並川様とも検討を重ねている旨報告あり。ただ、開催に関して県側での費用負担は現状厳しい状況であり、後援名義での対応とする。</p> <p>日臨技の意向としては、各都道府県での開催を望まれている。</p> <p>また、当初期待していた技師OG、OBに関しては検体採取講習会を受講されていない方も多く、PCRセンターに派遣できない状況である。</p> <p>7/11時点での開催は8府県である。</p> <p>検討の結果、和臨技としても開催する方向で一致。現状新型コロナウイルスの流行も再燃している状況でもあるが、なるべく早い時期での開催が望まれるため、カリキュラム及び講師手配等準備を進めて、状況を見て直ぐに開催できるように対応を目指す。</p> <p>会場 → 労災病院(会長よりご提案)</p> <p>事前申し込み制、定員制</p> <p>カリキュラム概要案: フルPPEなどの感染対策 30分</p> <p style="padding-left: 40px;">検体採取 30分</p> <p style="padding-left: 40px;">検体梱包手技 30分</p> <p style="padding-left: 40px;">PCR検査研修 90分</p>		

カリキュラム及び募集要項案を作成の上、参加対象者についても検討を行う。（作成担当 事務局久保）

必要に応じて、JAMTIS より和歌山県内の技師で検体採取講習会不参加者をリストアップしての案内も検討。

(3) 都道府県技師会研修会運営について

①研修会開始条件（新型コロナウイルス感染症関連で）

②研修会中止条件（新型コロナウイルス感染症関連で）

(4) 令和2年度和臨技事業計画の見直し

実施事業と中止事業の仕分け

実施事業の場合、開催条件等の策定

(6) 令和2年度和歌山県臨床検査技師会講習会開催への対応方針

以上の議題について、他府県の動向、開催方法について検討。

近畿圏内では、滋賀県や京都府技師会が手探りで開催を始めているが、他県の開催はみられない。学術部班長からはサテライト開催は可能か？Web開催をするにしても実際の運用はどうすれば良いか？県内以外の講師は可能か？（県またぎの移動は可能では？）等があった。

Web開催、ソーシャルディスタンスを保った上での通常開催について意見を交わしたが、現状感染者数が増加している中で医療職者間での感染者が発生した場合の社会的影響が大きすぎるのではないかとの意見あり。常務理事会としては、年間の事業も踏まえた上で、今年度末までの研修会・検査展・学会の中止の判断に至った。中止内容について、理事会審議をメールにて行い最終決定して会員各位への周知とする旨で一致。並行して、学術部では引き続きコロナ禍での具体的な研修会運営案について班長と共に検討。（Web開催についても、その方法・手順・アプリの運用についても検討）

学会については、現在担当の紀北地区のまま次年度へ繰り越す案について秋田理事に相談の上、開催方法についても検討頂くことで一致。

(7) 和臨技精度管理の参加基準

国保すさみ病院 → JAMTIS 上の施設登録が無い。また担当の技師もランチの為所属が別の施設となっている。

富士フィルムメディカル → 賛助会員ではないが、長年和臨技精度管理に参加して頂いている。特にドライ法のメーカーなので過去は目標値的な扱いでもあった。

以上の2施設について、本来の和臨技精度管理参加対象に当てはまらないのでは？との意見が中尾精度管理委員長よりあり、今回の参加の是非について検討。

和臨技精度管理としては、参加対象としてはやはり会員施設・賛助会員メーカーが妥当であることで一致するところだが、従来募集要項に参加条件などは設けていなかったのが現状である。今後の日臨技システムの導入も踏まえ、次年度からは募集要項に参加条件を明記して会員・賛助会員へ説明周知の上、参加を募ることで一致。今年度に関しては、従来通りの案内・申し込みであったため参加を受理するこ

	<p>とで一致した。ただ国保すさみ病院については、事務局より連絡の上施設登録をして頂けるように説明する。</p> <p>(8) その他</p> <p>中尾精度管理委員長、久保事務局長より提案。</p> <p>和臨技精度管理資料の配送について</p> <p>→現状、ヤマト運輸を利用しているが伝票の作成ならびに検体輸送に関するルール・条件などに問題点がある。今後の継続的で安全な精度管理事業を進める上で、日本郵便での配送についても検討が必要と考える。</p> <p>費用試算ならびに運用方法も含めて、検討を行う。</p>				
<p>決議事項 及び 継続事項</p>					
<p>記録作成</p>	<p>令和2年7月17日</p>	<p>氏名</p>	<p>久保 光史</p>	<p>提出</p>	<p>令和2年7月17日</p>

※ 諮問委員会で「報告書」が提出される場合、「委員会議事録」が別途作成添付される場合は添付資料で可